老舗こんにゃく店一柳の
ベトナム文化交流プロジェクト

～誰もが住みやすいまちへ！～

R04/03/23　SIB成果報告会　株式会社一柳

事業者概要

- 事業者名：株式会社　一柳
- 住所地：愛媛県四国中央市中之庄町124番地
- 代表者：氏名　一柳　美枝子
- 西条店（新店舗）店長：氏名　チャン ティ ホン
- 設立年月日：2006年11月20日（株式会社として）

  （1960年、先代が「一柳こんにゃく店」を創業）
- 設立目的：農産食料品の加工及び販売/飲食店の経営、こんにゃく製造・こんにゃく菓子製造、惣菜販売

実現したい将来の地域の姿（目指していること）

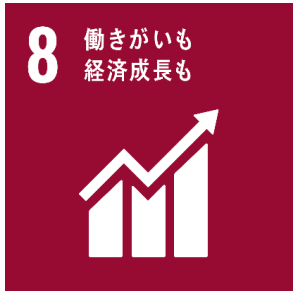
- ❑商店街を中心とした活力のある地域づくり
- ❑国籍や移住者・地元在住者を問わない自由なコミュニティづくり
- ❑異文化交流の拠点づくり、食を通じた異文化交流

このプロジェクトとSDGｓの関連性

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

●目標8　「働きがいも経済成長も」

すべての人が働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう



スタッフ一人ひとりの生活スタイルに合わせた時間勤務を採用し、楽しく助け合って働ける環境づくりをしています。
また、ベトナムをはじめとする、市内で働く外国籍の方が集まりやすく、地域との交流の場になっています。
さらに、地域の特産品をつくり販売することで、地域の文化振興・販売促進・観光業の促進にもつながります。

●目標10　「人や国の不平等をなくそう」

各国内及び各国間の不平等を是正する

国籍・移住者・地元の人を問わず従業員を採用したり、ベトナム料理教室などの交流イベントを通じて異文化への理解を深めることができる機会を地域の身近な場所につくることで、性別、障がい、人種、出身・・・に関係なく平等な社会を作ることにつながっています。

実施背景

当社はこんにゃく製品・こんにゃく菓子製品の製造、惣菜販売等を行っている。四国中央市の店舗において、ベトナム食材やベトナム料理の一部販売も行っており好評を得ている。

ベトナム料理を提供する店が少なく認知度が低い。

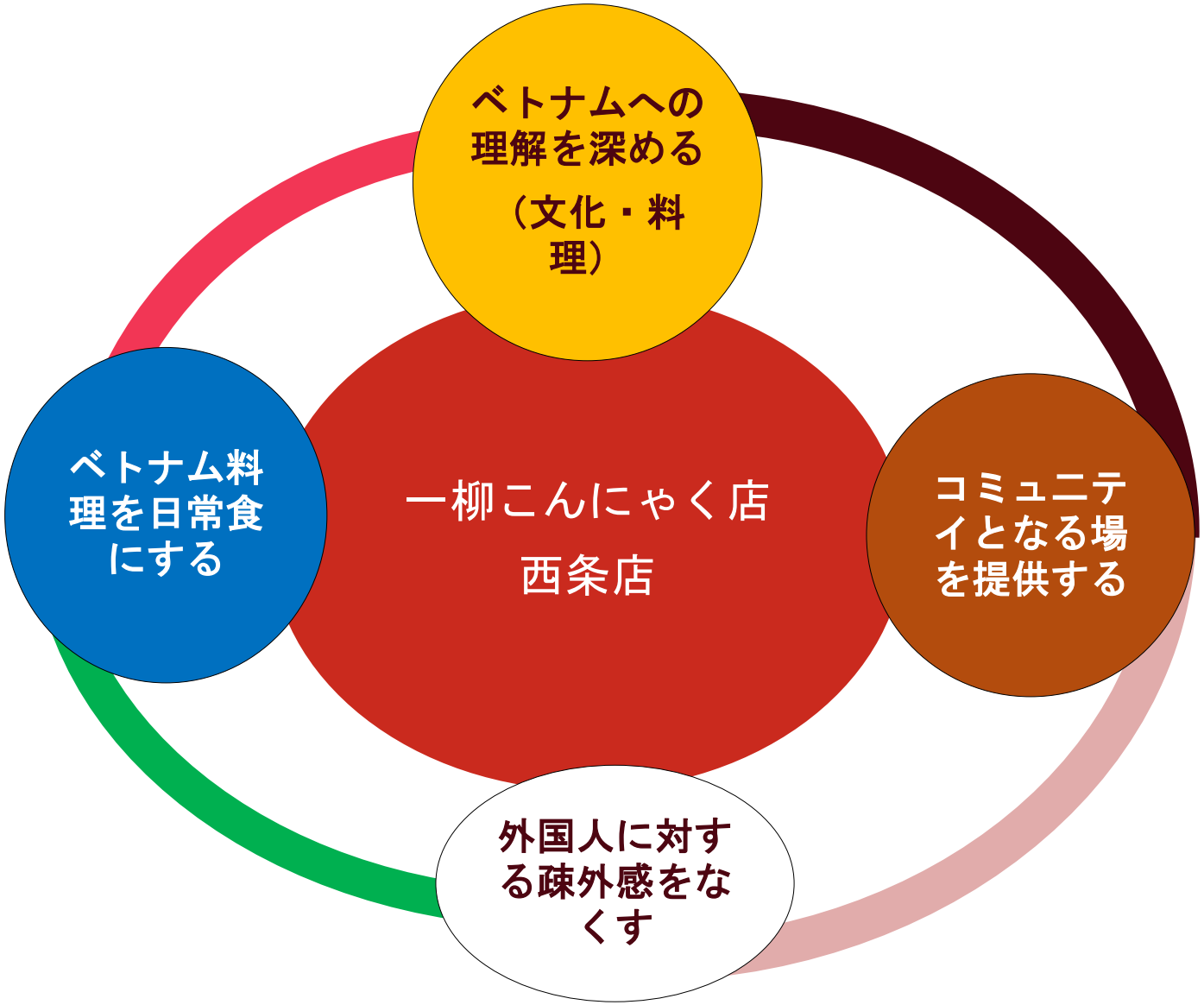
愛媛県内で新規出店先を検討していた。

愛媛県においても外国人に対する疎外意識は存在しており、相互理解を高める必要性を感じている。

地域の現状

- ベトナム料理は日本人の好みに合うが、地域に提供店がない
  ベトナムのフェ市と友好都市提携を結ぶ西条市への出店を決める
- 紺屋町商店街付近は綺麗に整備され、西条の中心地として十分存在感がある地域である
- 交流を通じた外国人との相互理解が必要

プロジェクトの目的


ベトナムへの理解を深める（文化・料理）
ベトナム料理を日常食にする
一柳こんにゃく店
西条店
コミュニティとなる場を提供する
外国人に対する疎外感をなくす

プロジェクトの実施内容

1.西条の新店舗をつくり、商品販売・飲食提供

① こんにゃく商品

② こんにゃく菓子

③ ベトナム料理・食材

プロジェクト実施内容

2.新店舗での新規雇用

店長は、ベトナム人であり四国中央市本店での勤務実績もあるチャン ティ ホンが就任しました。
ほかスタッフは、ベトナム人が2名、日本人が2名です。
（勤務時間等は個人の希望にあわせ、合計5名を雇用。）

※日によって勤務するスタッフが変わります。この日は3人体制。

プロジェクト実施内容

3.交流の場を作る

- ❑ 店員とお客様・
  お客様とお客様
- ❑ ベトナム料理を味わう。
- ❑ 異文化を理解する。

プロジェクト実施内容

4.西条市国際交流協会との連携

ベトナム中秋節（月まつり）10/24

日本の「十五夜」と同じく、お月見や豊作を感謝する、【子どもたちのための日】です！

小学生を対象として、みんなで交流しながら、ベトナムランタン（提灯）を手作りし、思い思いの飾り付けをして可愛い作品が作れました！

（写真はそのときの様子）

ベトナム語講座

国際交流協会主催の「ベトナム語講座」の講師を務めています！

プロジェクト実施内容

5.交流イベントを実施

ベトナム料理教室を実施

「西条市食の創造館」で、これまでに４回実施しました！

ベトナム料理（バインミーや蒸し春巻きなど）のコツはもちろん、ベトナムでの暮らし、ベトナム人の好みなどもお伝えしながら、皆さん和気あいあいとした雰囲気でベトナム文化に触れる機会となりました。

料理教室をきっかけにお店にも来てくれたりもしました！

プロジェクト実施内容

6.西条市名産品とのコラボレーション

ベトナムではポピュラーな食材「青パパイヤ」を栽培されている「西条農業高等学校」の農園を訪問しました！

先生らのご案内のもと、農園を見せていただき、丁寧にご説明をいただきました。

ベトナム風お漬け物、サラダなどにして、随時販売しています。

青パパイヤ：
脂肪やタンパク質を分解する作用があり、消化を助け、抗酸化作用の効果がある。ベトナム料理によく使われる。

SIBの成果目標①

従業員雇用者数5名の達成
日本人・外国人含め上記人数の雇用者数の達成を目標とする。

	氏名	役割
1	チャン　ティ　ホン	店長（フルタイム）
2	レ　ティ　ティン	フルタイム
3	グェン　ティ　クエン	アルバイト　週4日
4	篠原　理沙	アルバイト　週2日
5	合田　あかり	アルバイト　週2日

SIBの成果目標②

交流イベント実施回数5回の達成

様々な人の交流の機会を生み出すため、上記イベント回数を目標とする。

	日にち	イベント
1	7月17日（土）	西条市食の創造館でのベトナム料理教室
2	9月18日（土）	西条市食の創造館でのベトナム料理教室
3	10月24日（日）	ベトナム月まつり（中秋節）※国際交流協会と連携
4	11月20日（土）	西条市食の創造館でのベトナム料理教室
5	12月4日（土）	西条市食の創造館でのベトナム料理教室

SIBの成果目標③

西条市名産品とのコラボ商品開発

地元に愛される味の商品を開発し、同時に地元と共に発展することを目指す。

地元「西条農業高等学校」の「青パパイヤ」を活用して、
ベトナム風お漬け物、サラダなどにして、
随時販売しています。

今後も、高校生のアイデアを活かしたコラボレーションも計画しています。

プロジェクトで生み出した効果

■西条市民のベトナムに対する理解度の向上

■商店街周辺の賑わい創出

■西条市在住の外国人の憩いの場の提供

■新規雇用・勤務時間の自由化

■西条市名産品等とのコラボレーションを通して、新たな価値の創造

■誰にとっても暮らしやすいダイバーシティの創造

今後の活動予定

■西条店の運営継続
お店自体が多国籍な交流の場や居場所となり、海外の文化など
情報発信を続けて行く

■地元高校生とのコラボレーション
青パパイヤ活用をきっかけに、西条農業高校と連携を図っていく

■地元商店街や西条市国際交流協会等との共同イベントの開催
「ベトナムデー」など、コラボイベントの開催

■友好都市：ベトナム・フエ市等への出店
ベトナムにおいても日本の文化・日本食を浸透させたい
（相互理解を深めていく）

プロジェクト収支決算

(1) 収入の部

費　目	予算額	決算額	比較増減	内　訳
SIB支援金	500,000	500,000	0	出資金
自己資金	1,500,000	2,859,000	＋1,359,000	
合　計	2,000,000	3,359,000	＋1,359,000	

(2) 支出の部

費　目	予算額	決算額	比較増減	内　訳
イベント用 機材購入	400,000	120,000	▲280,000	テレビモニター (イベント･ベトナム情報放映用)
広告費	100,000	10,000	▲90,000	チラシ、メニュー等印刷
改修・改装費	1,500,000	2,279,000	＋779,000	解体費
人件費	0	950,000	＋950,000	12月・1月分
合　計	2,000,000	3,359,000	＋1,359,000	